

# 生きる意味109

後悔のない人生の為の世界の偉人・天才・普通人からのメッセージ

長南 瑞生

{ 生きる意味についてよくある7つの間違い }

1. 生きる為に生きる            ~アッという間に人生は終わってまう
2. 成長するために生きる       ~どこへ向かって成長するのか
3. 他の誰かのために生きる   ~定年を過ぎてもそう言えるのか
4. 愛の為に生きる             ~別れの時の悲しみは大きい
5. 自己実現のために生きる   ~やりたいことは限りなく・命は限りある
6. 生きた証をなすために生きる  
                                      ~人生をかけて何かを残してもやがては必ず消えていく
7. 生きること自体が大切       ~やがて見えてくるのは死という崖ぶち

{ 人類始まって以来少しも変わらない人生の本質とは }

高収入は幸福感とは関係ない驚くべき発見、米国の経済学者リチャード・イースタリン

- \* 日本は経済が6倍豊かになっても生活満足度は変わらない
  - \* 年収7百万円を超えると幸福感は下がっていく
  - \* 金持ち父さん~お金は君を決して幸せにしない
  - \* 有無同然~田あれば田を憂え、宅あれば宅を憂う
  - \* 牛馬・六畜・奴婢・銭財・衣食・什物またともにこれを憂う
- 生活水準が高まったからこそ生きる意味を求めている。

{ 生きる意味とは }

生まれてから死ぬまでにこれ一つ果たせば大満足というもの。

1. 私たちは何のために生まれてきたのか
2. 何のために生きているのか
3. なぜ生きなければならないのか

{ 人心受けがたく、今すでに受く }

~生まれがたい人間としてよくぞ生きてきたものぞ！という生命の大歓喜、この地球上にどれだけ多くの生物がいる事か、マンボウという魚は1回の産卵で2~3億個の卵を産みネズミは1ヶ月に12匹生み~1年後には計算上280億匹にもなる。

人間に生まれた時にしか果たすことができない尊い目的がありそれを達成したときに「生まれがたい人間に生まれてきてよかった」という大歓喜を味わえる。

{ 生きる為に生きるという～間違い }

五欲を満たす食欲・財欲・色欲・名誉欲・睡眠欲は全く刹那的な快楽を満たすだけで心からの安心満足は得られない。

{ 成長するために生きる～間違い }

魂の成長を唱える飯田文彦氏は魂が成長していくに従い更なる苦しみや試練が来ると、また宇宙が「成長したい」と願う理由などないと(生きがいの創造の文中で)

{ 他の誰かのために生きる～間違い }

60歳からの生きる意味という本の中で「社会に役立たない人は生きる意味がないとは言えません」と、どんな人でも死ぬまでは周りの人の世話になるから「生きるのは誰かの為」は「何のために生きるか」の答えにならない。

{ 愛の為に生きる～の間違い }

結婚や子供の成長が人生最大の幸せであればあるほど、それが崩れた時の苦しみや悲しみは大きく「会者常離あり、とかねて聞きぬれど、昨日・今日とは思わざりけり」

{ 自己実現のために生きる～間違い }

米国の心理学者マズローは「人間は自己実現に向かって成長する」との理論を展開するものの、当の本人も「やっぱり自己実現は人生の目的ではない」と自己実現を追求した著名人の証言も満足していない～レオナルド・ダビンチ、アイザック・ニュートン、ゲーテ、葛飾北斎、チャールズ・ダーウィン、ジョンレノン、パブロピカソ

{ 生きた証を残すために生きる～間違い }

トップレベルに生きた7名も悔悟と深い幻滅を告白している、松尾芭蕉、ナポレオンボナパルト、ジョゼッペ・ベルディ(椿姫・アイーダン名作曲家)クロードモネ、パブロピカソ、夏目漱石(蓮如上人～人生の楽しみは変幻のようなもの)

{ 生きること自体が大切～という間違い }

目的には達成や完成がなければならないので生きる目的を知るうえで非常に重要なこと、完成のないものを「生きる目的」と思っていると、どこまでいっても「人間に生まれてよかったという生命の歓喜」がない。

{ 本当の人生の目的～八正道で生きる＝大船に乗る事 }

何度の海を渡す大船～苦しみや悩みの絶えない人生の海を、明るく楽しく渡す大きな船があるから早くそれに乗りなさい [ この大船に乗る事こそが人生の目的である ]

{ 天上天下唯我独尊とは }

大宇宙広し、といえども「我々人間にはたった一つの尊い目的・使命がある」どんなに苦しくとも、この目的を果たすために決してあきらめず生き抜きこの目的を果たすことで、「人間に生まれてきてよかったと感じる人になりなさい」と釈迦は説く。

ドイツの哲学者ニーチェは「仏教はキリスト教に比べ百倍ぐらい現実的で歴史的に見てただ一つのきちんと論理的に物を考える宗教」だと。

20世紀最大の天才科学者アインシュタインは「現代科学に欠けているものを埋めあわせてくれる宗教があるとすれば仏教であり近代科学と両立可能な唯一の宗教だ」

{ 幸せになることが二つあることを知る }

1. 相対の幸福～今迄全ての人が求めてきたもの

分かり易く刺激も強烈で、とても引き寄せられるが、心からの安心も満足もできない、三つの弱点がある。

- ① どこまで求めてもきりが無い
- ② 何を手に入れても喜びが続かない
- ③ 死んでいくときには総崩れとなる ( 最大の急所 )

2. 絶対の幸福～心から安心満足できる幸せで、死によっても崩れない

生死の一大事を解決すれば絶対の幸せになれる。

{ 生死の一大事＝死の大問題の特徴 }

- ① 全ての人々が直面し必ず負ける戦い
- ② いつどこから襲ってくるか分からない
- ③ 火事より交通事故より恐ろしいのに誰も準備していない  
しかも百パーセント必ず来る

{ 無碍の一道 }

死という障りがさわりまま障りとならないたった一つの世界がある「絶対の幸福」の事

{ 絶対の幸福になった時の風景はどう変わるか }

人生の目的「 **苦しみ悩みの絶えない人生の海を明るく楽しく渡す大きな船に乗る事**」  
絶対の幸福は最も重要な死の大問題を生きている時に真っ先に解決すれば後の問題は問題にならない。

( 参考 )

{ 人生の目的を果たす生き方 }

- ① { 八正道 } ~ 別途の要約文をご参照ください
- ② { 六度万行 } にある「布施」の業とは

{ 無財の七施 }

- 1. 眼施 ~ 優しく明るくする、温かい眼差し
- 2. 和顔悦色施 ~ 微笑・笑顔
- 3. 言辞施 ~ 優しい言葉をかける
- 4. 身施 ~ 人の為・社会のために働く
- 5. 心施 ~ 心からの感謝・言葉
- 6. 床・座施 ~ 場所や席を譲る
- 7. 茅舎施 ~ 一宿一飯の施し

{ 財施 } ~ 金・物・労力

{ 法施 } ~ 仏教を伝えることは最も価値あるものとされている

以上